

令和7-8年度ローカルイノベーションプラットフォーム運営等委託業務
公募型プロポーザル審査要領

1 審査の対象となる事業者

審査は、次の各号をすべて満たす事業者を対象に行う。

- (1) 別途定める「令和7-8年度ローカルイノベーションプラットフォーム運営等委託業務公募型プロポーザル募集要領」（以下「募集要領」という。）に規定する資格要件を満たす者
- (2) 募集要領に規定する期限内に、必要な書類のすべてを提出した者

2 審査の項目及び点数

総合点数は100点とし、審査項目と審査項目ごとの配点は次のとおりとする。

- (1) 企画提案の内容 (80点)
- (2) 業務の実施体制 (10点)
- (3) 実施経費 (5点)
- (4) 実施スケジュール (5点)

3 審査委員会

参加者から提出された企画提案書及びプレゼンテーションの審査を行う審査委員会を開催する。

(1) 日時、場所（予定）

日時：令和7年3月28日（金）13:00～17:30

場所：高知市永国寺町6-28 高知県産学官民連携センター

（高知県立大学・高知工科大学 永国寺キャンパス地域連携棟1階）

※状況に応じて、審査委員会をオンライン（Zoom）で開催する場合がある。

※参加者多数の場合は、審査委員会を終日開催とする。

(2) プレゼンテーション

ア プレゼンテーションの時間は1事業者25分とする。

イ プレゼンテーション終了後、審査委員からの質疑の時間を20分設ける。

ウ プレゼンテーション開始時刻は別途審査委員及び参加者に通知する。

4 審査の方法

(1) 提出された企画提案書とプレゼンテーションに基づいて審査を行う。

(2) 各審査委員は、プレゼンテーションと質疑の終了後、別紙「審査基準」に基づいて審査を行う。

- (3) すべての参加者の審査が終了した後、各審査委員の審査結果を集計し、随意契約の相手方となる候補者と次点者を決定する。
- (4) 審査の結果、最高点の者が同点で2人以上ある場合は、経費見積が安価な者から順に候補者と次点者を選定する。
- (5) 各審査委員の採点の合計が総合点数の6割以上であることを最低基準とし、最低基準を満たさない提案者は選定の対象としない。

1 企画提案の内容

審査項目		評価の視点	配点	評点	
1. 全体	本業務における提案者の強みとその活かし方について	・本県の地域課題とイノベーションの創出・新事業開発における県内企業の状況等をしっかり把握した上で、本業務の成果を高めるための自社の強みを活かした実施内容及び方法の提案となっているか。 ・全国のスタートアップ企業等呼び込むためのネットワークを有しているか。 また、そのネットワークを構成するスタートアップ企業等の本事業への参画を促す周知とアプローチ方法は、具体的かつ効果的な提案となっているか。	10	10	80
2. オープニングイベント	オープニングイベントについて	・本事業を県内各関係者等へ効果的に周知し、参加者のプラットフォームへの参画意欲を喚起するための内容が企画・提案されているか。 ・県内企業等が新事業に挑戦するきっかけとなるようなイベントの企画内容となっているか。	10	10	
3. 総合窓口	総合窓口について	Webサイト上での課題公表方法について、スタートアップ企業等が提案しやすく、またスタートアップ企業からの提案を県内関係者等が見やすくなる工夫がなされているか。	10	10	
4. 新事業創出事業	(1) マッチングについて	スタートアップ企業等から多くの提案が得られるよう、県庁内各部署等から抽出したテーマの磨き上げや課題の深掘りをする際等具体的なサポート内容が提案されているか。	5	25	80
		課題提示会は、多くのスタートアップ企業等に参加してもらい、その後の提案につながるような企画内容となっているか。	5		
		課題提示会後のスタートアップ企業等からの提案募集の方法は、提案を数多く受け入れることができるような工夫がなされているか。	5		
		マッチングに向けたコーディネートにおいて、県庁内各部署等とスタートアップ企業等を確度高くマッチングさせるための工夫がなされているか。	10		
	(2) プロジェクトの伴走支援について	プロジェクトの事業化に向けた伴走支援の効果的な方法（プロセス等）が具体的に提案されているか。	15	25	
各プロジェクトの進捗管理方法や状況に応じた対応策等について、工夫がなされているか。		10			

2 業務の実施体制

項目分類	評価の視点	配点	配点	合計点
1 事務局の運営体制	事業を効果的に遂行するためのスタッフの能力・人員・体制が確保できているか。	5	10	10
2 業務実績	これまでに類似業務（オープンイノベーションプラットフォームの運営）や実績は十分にあるか。	5		

3 スケジュール

項目分類	評価の視点	配点	配点	合計点
スケジュールの実現性	スケジュール的に無理のない、業務の実施が可能であるか。	5	5	5

4 実施経費

項目分類	評価の視点	配点	配点	合計点
経費配分と事業の実現性	事業の実施にあたり、経費の配分が適切であり、無理なく実施可能であるか。	5	5	5

総合計 **総合計 100 100**